

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2015-214538(P2015-214538A)

【公開日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-075

【出願番号】特願2015-84970(P2015-84970)

【国際特許分類】

C 0 7 D 241/36 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 241/36 C S P

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/22 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月9日(2018.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (G 0) で表される複素環化合物。

【化 1】



(G0)

(式 (G 0) 中、A は、ジベンゾ [ f , h ] キノキサリニル基を表し、B は、置換もしくは無置換のフルオレニル基を表し、A r は、置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 2 5 のアリーレン基を表す。)

【請求項 2】

請求項 1 において、

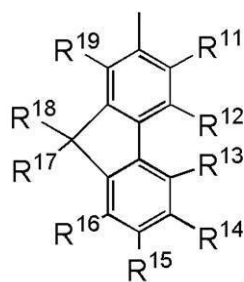
前記式 (G 0) 中の B は、置換もしくは無置換の 2 - フルオレニル基である複素環化合物。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記式 (G 0) 中の B は、下記式 ( ) で表される複素環化合物。

## 【化 2】



(α)

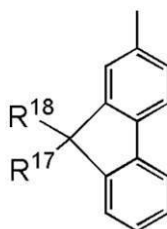
(式( )中、 $R^{11} \sim R^{19}$ は、それぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基、炭素数6～12のアリール基を表す。)

## 【請求項 4】

請求項1乃至請求項3のいずれかーにおいて、

前記式(G0)中のBは、下記式( )で表される複素環化合物。

## 【化 3】



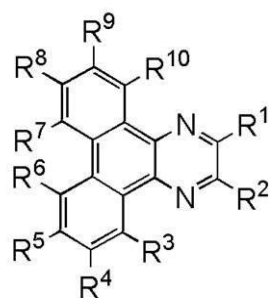
(β)

(式( )中、の $R^{17}$ および $R^{18}$ は、それぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基、炭素数6～12のアリール基を表す。)

## 【請求項 5】

式(G1)で表される複素環化合物。

## 【化 4】



(G1)

—Ar—B

(G1-1)

(式(G1)中、 $R^1 \sim R^{10}$ のいずれかーは、式(G1-1)で表され、その他はそれぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基を表す。式(G1-1)中のBは、置換

もしくは無置換のフルオレニル基を表し、式 ( G 1 - 1 ) 中の A r は、置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 25 のアリーレン基を表す。)

【請求項 6】

請求項 5 において、

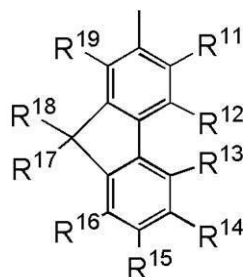
前記式 ( G 1 - 1 ) 中の B は、置換もしくは無置換の 2 - フルオレニル基である複素環化合物。

【請求項 7】

請求項 5 または請求項 6 において、

前記式 ( G 1 - 1 ) 中の B は、下記式 ( ) で表される複素環化合物。

【化 5】



(α)

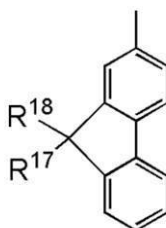
(式 ( ) 中、 $R^{11} \sim R^{19}$  は、それぞれ独立に、水素、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基、炭素数 6 ~ 12 のアリール基を表す。)

【請求項 8】

請求項 5 乃至請求項 7 のいずれかにおいて、

前記式 ( G 1 - 1 ) 中の B は、下記式 ( ) で表される複素環化合物。

【化 6】



(β)

(式 ( ) 中、 $R^{17}$  および  $R^{18}$  は、それぞれ独立に、水素、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基、炭素数 6 ~ 12 のアリール基を表す。)

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 8 のいずれかーに記載の複素環化合物を有する発光素子。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の発光素子と、

トランジスタ、または、基板と、

を有する発光装置。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の発光装置と、

マイク、カメラ、操作ボタン、外部接続部、または、スピーカと、  
を有する電子機器。

【請求項 12】

請求項 10 に記載の発光装置と、  
筐体、カバー、または、支持台を有する照明装置。